

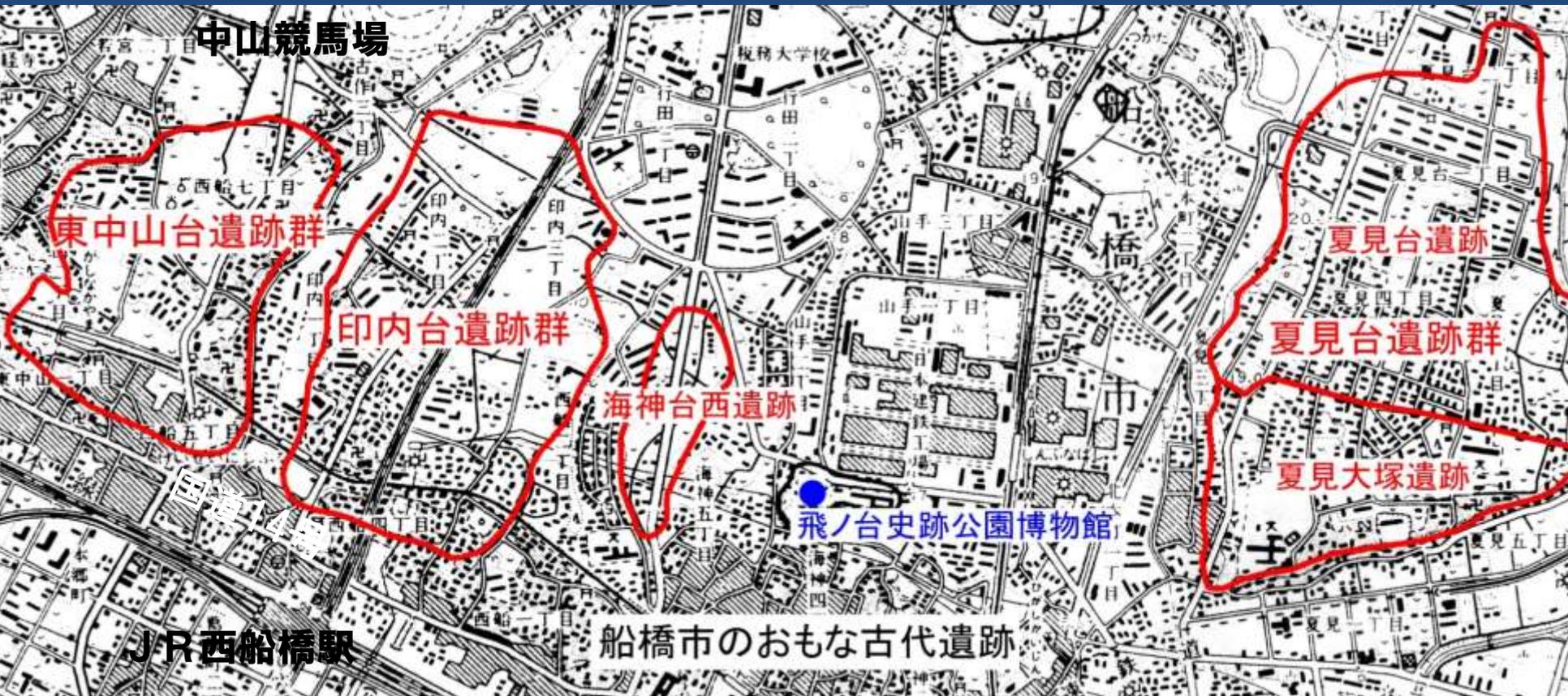
古代・中世の東中山台遺跡群

～近年の調査研究成果から～



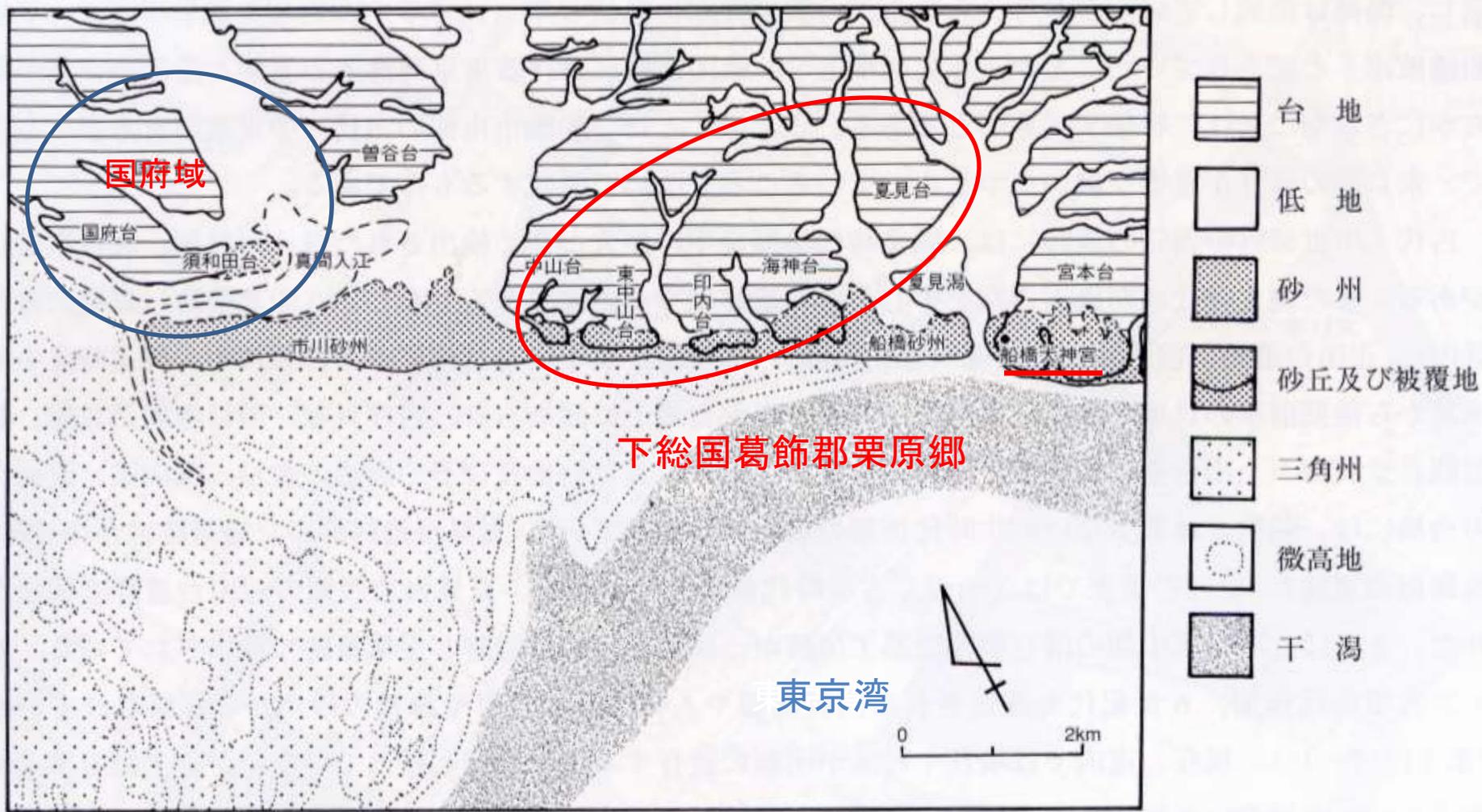
船橋市教育委員会 文化課
道上文

船橋市のおもな古代遺跡



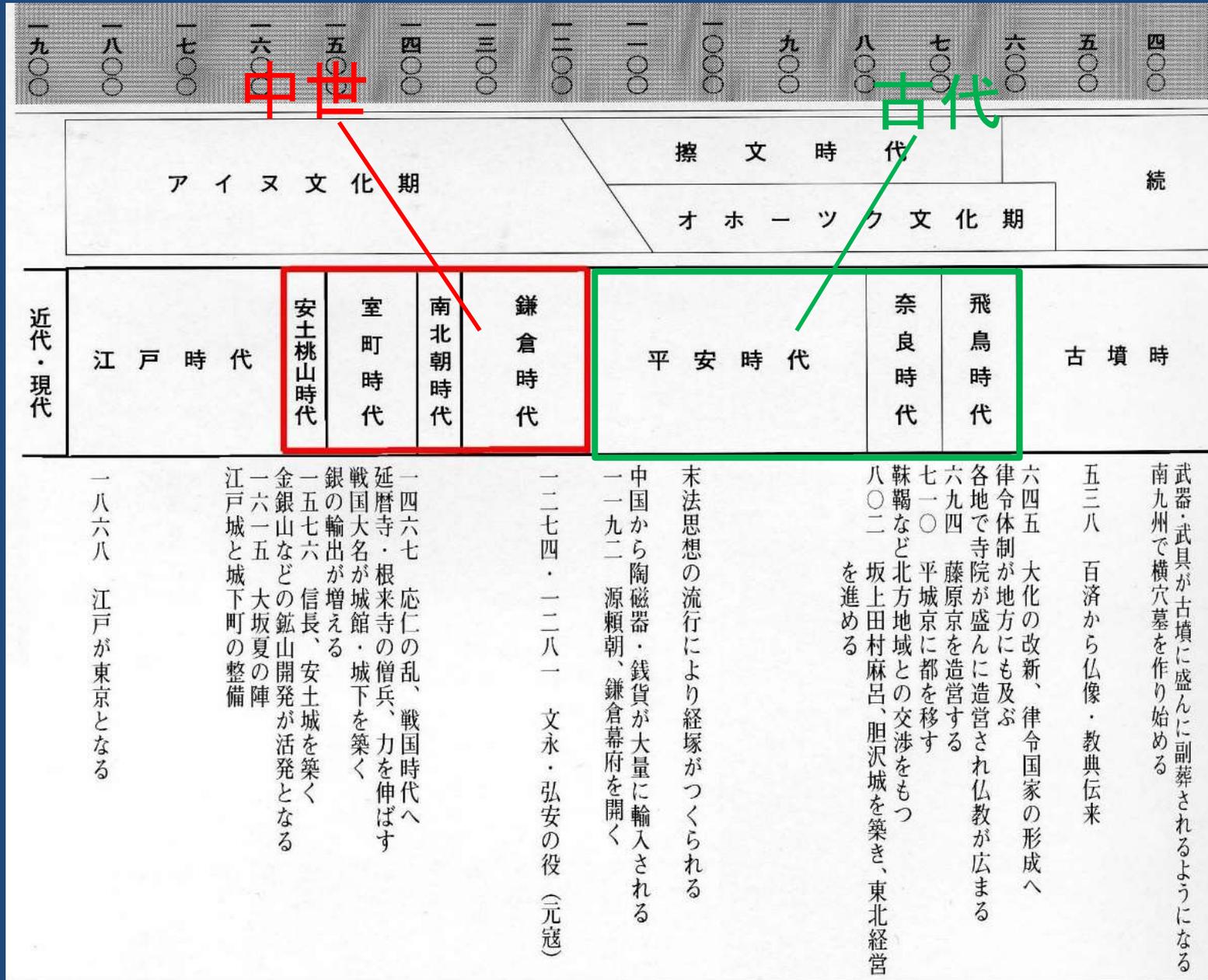
古代から中世の東京湾北岸部推定地形図

陸海交通の要衝、首都(国府)近郊に立地!



第2図 古代から中世の東京湾北岸部推定地形図 (1/80,000 滝口昭二原図作成)

時代の区分



船橋市東中山台遺跡群(本郷台遺跡含む)

○船橋市東中山、西船一帯

○古代は「下総国葛飾郡栗原郷」
(『和名類聚抄』記載)の一部

○現在も「小栗原」の地名が残る



○船橋市の西端部
下総国府から5kmと近い
好立地！

○標高15～20m、東京湾に
臨む台地上に展開

○遺跡の面積：約45万m²

東中山台遺跡群調査地点



◆約40年間に60地点以上調査

◆遺跡の面積:約45万㎡、うち約17%(約8万㎡)を調査

第3図 東中山台遺跡群調査地点図(1/6,000)

古代の東中山台遺跡群

～ 竪穴住居跡・掘立柱建物跡群～

(たてあなじゅうきょあと・ほったてばしらたてもものあと)



● 集落の時期

7世紀前葉～11世紀代

○ 竪穴住居跡184軒

○ 掘立柱建物跡71棟
(側柱建物62、総柱建物4)

○ 火葬墓・木棺墓

○ 製鉄・鉄鍛冶関連遺構

○ 溝・道路跡など

(1977～2011年調査の統計)

道路跡・「栗」墨書



「衙」「栗」と書かれた墨書土器
東中山台遺跡群(18)(21)
東中山台遺跡群は栗原郷の中心で
あった可能性が高い。

- ・380点以上の墨書土器が出土
- ・「栗」原郷の中心のひとつ
- ・掘立柱建物跡が多い

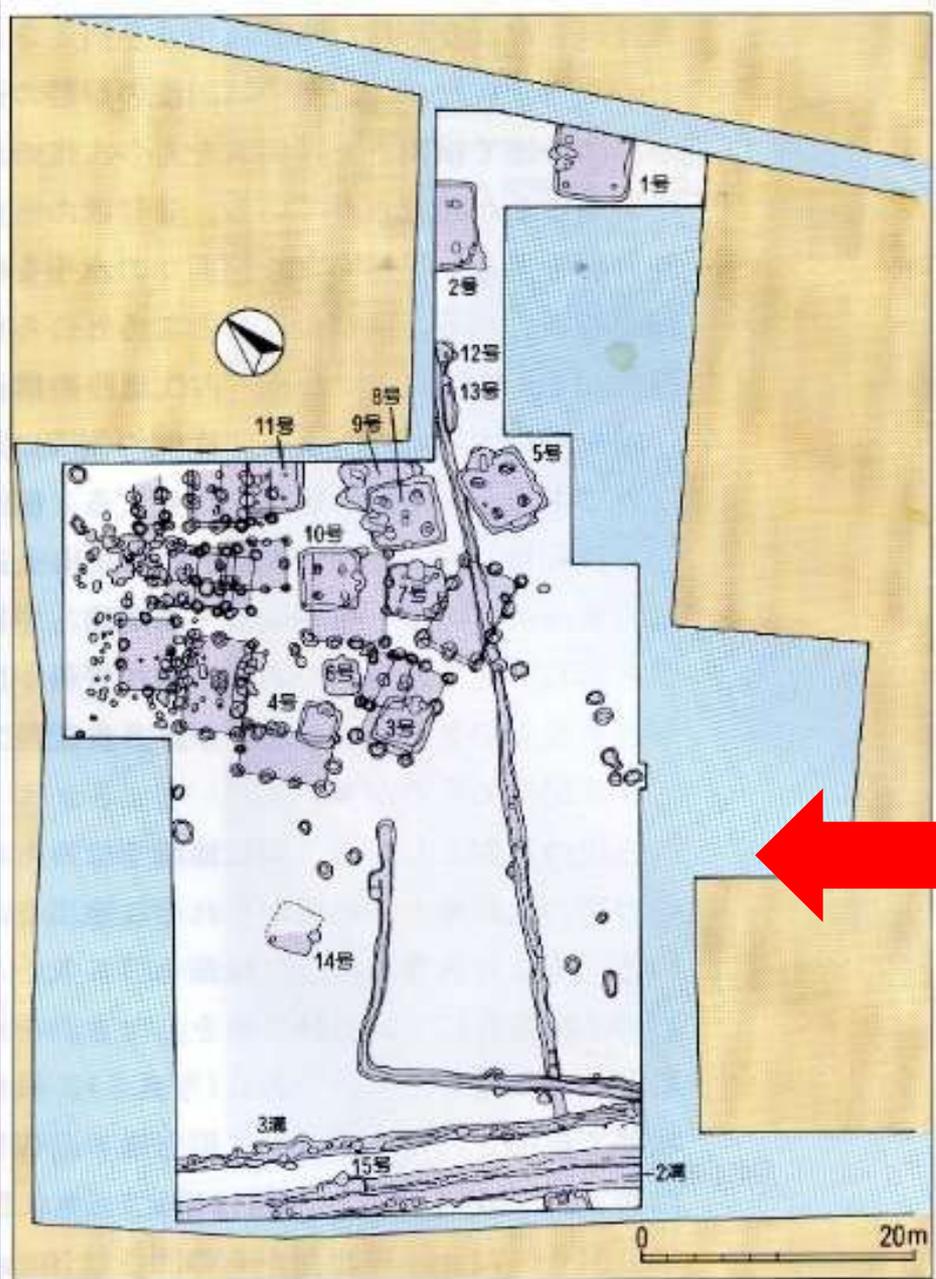
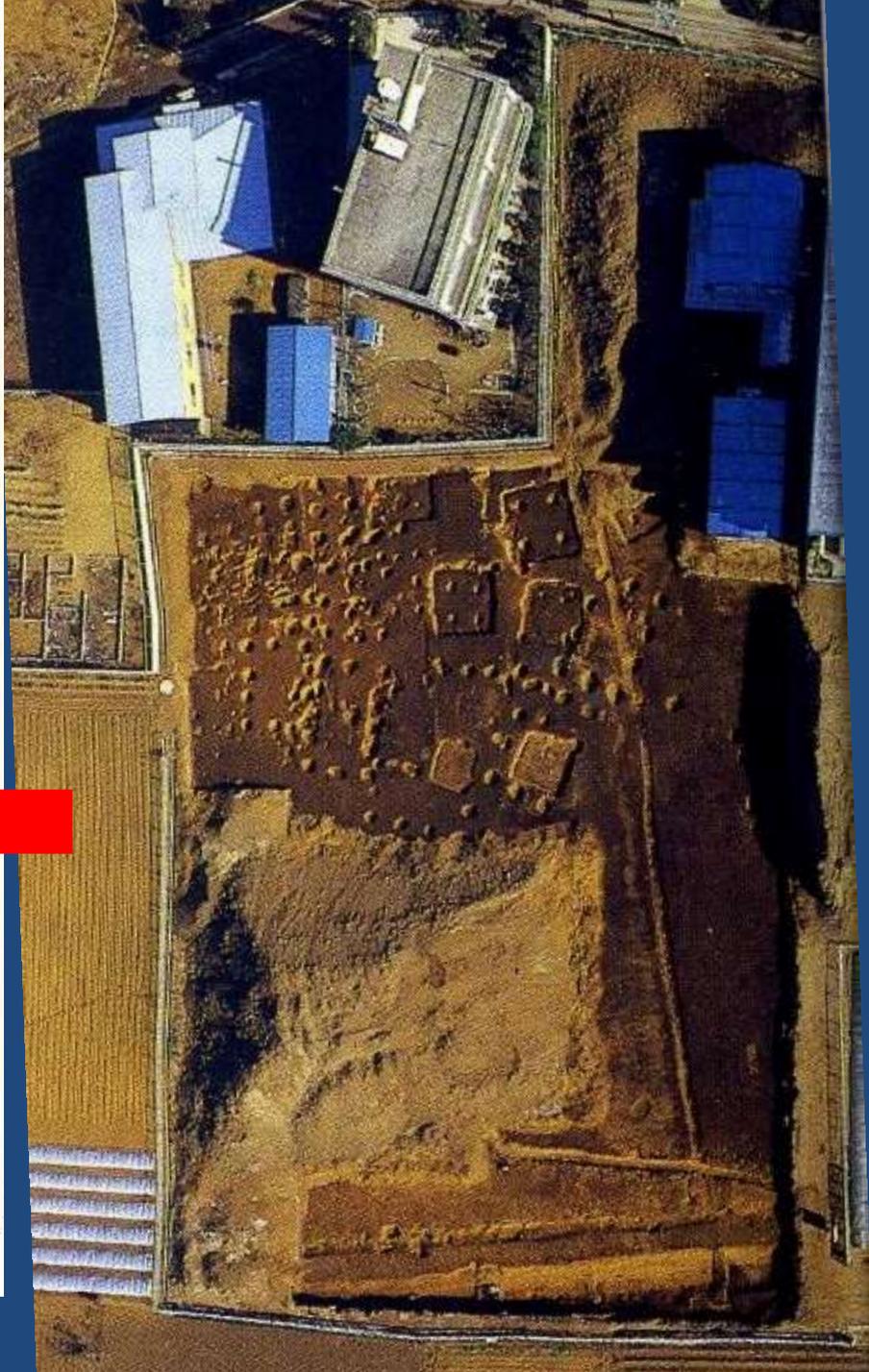
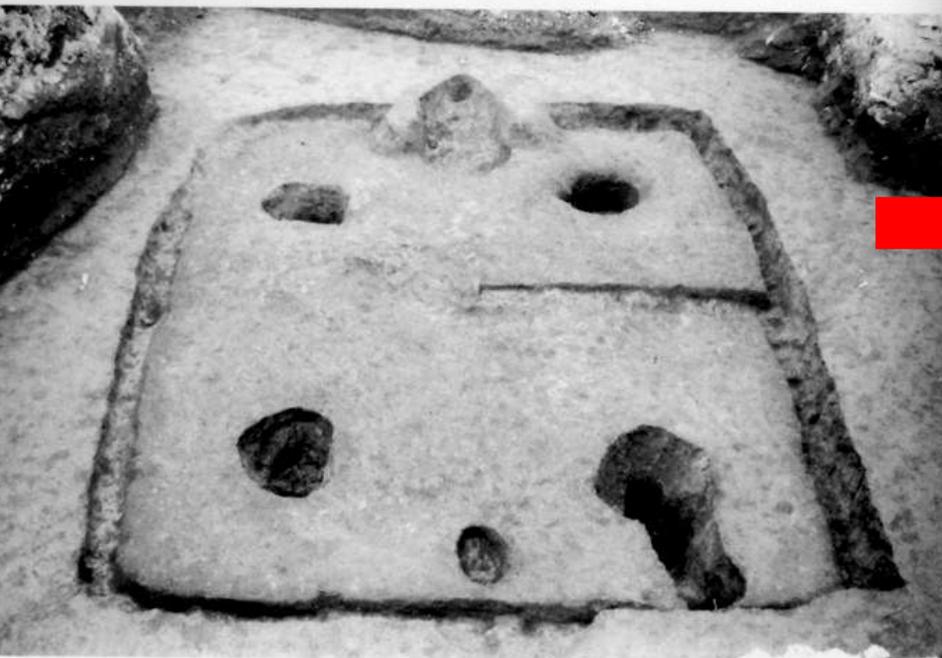


図2 第1次調査遺構配置図

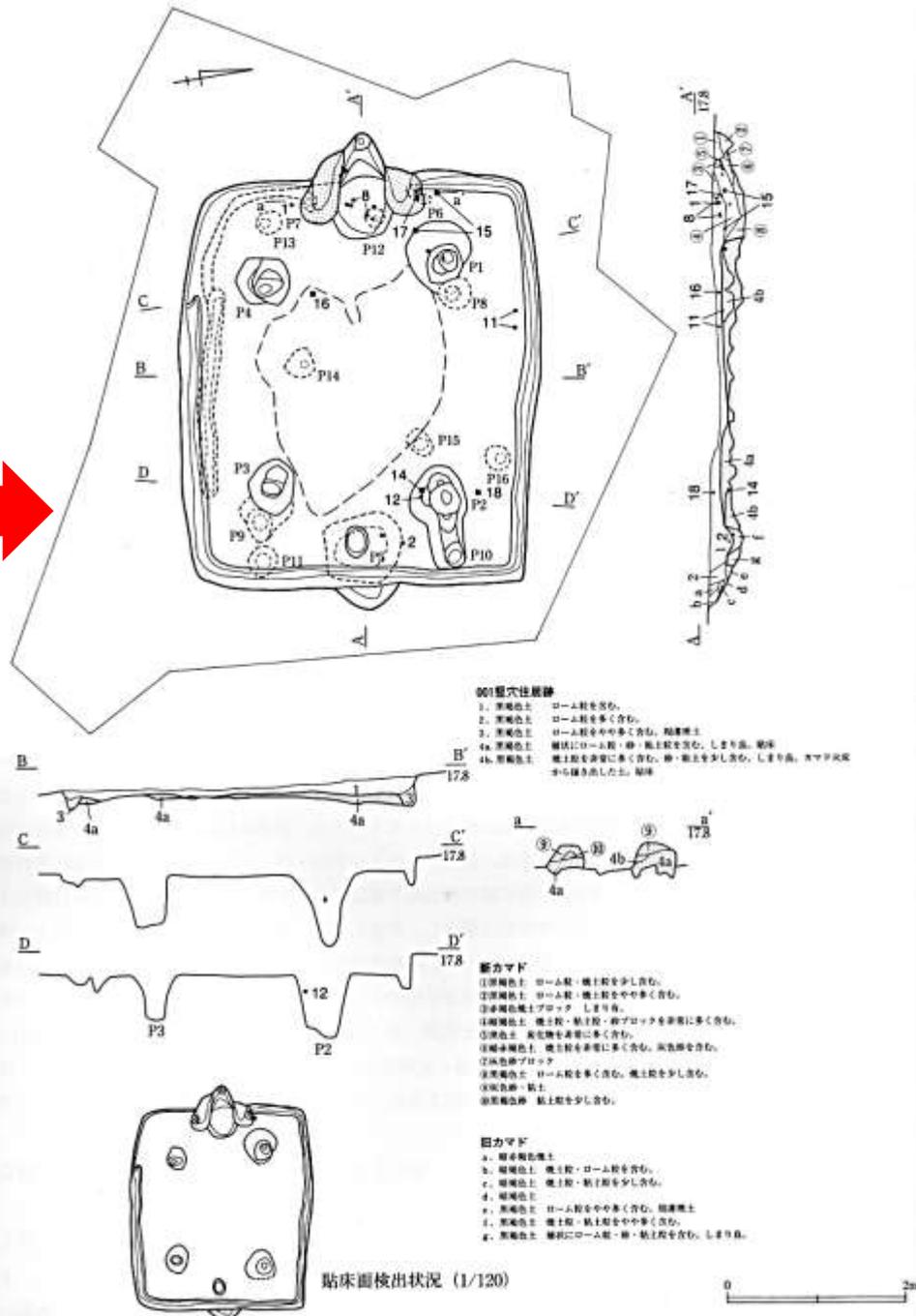


本郷台1次調査

竪穴住居跡の構造



東中山台遺跡群 (20) 001住居跡完掘 (東から)



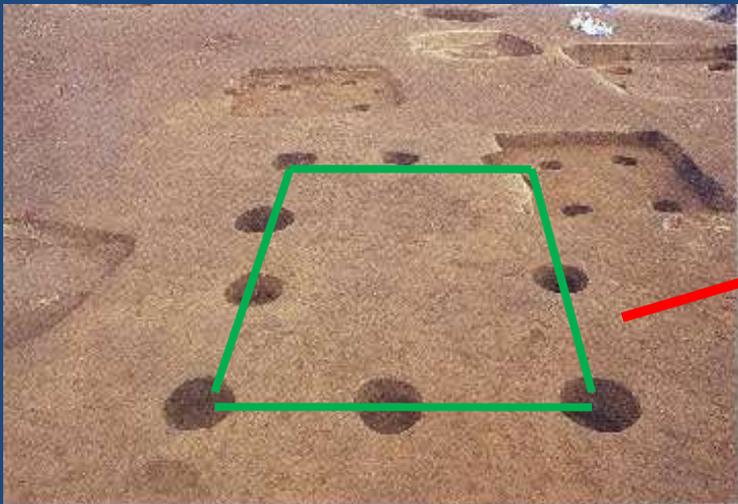
第4図 東中山台遺跡群(20)001竪穴住居跡

集落の復元イメージ

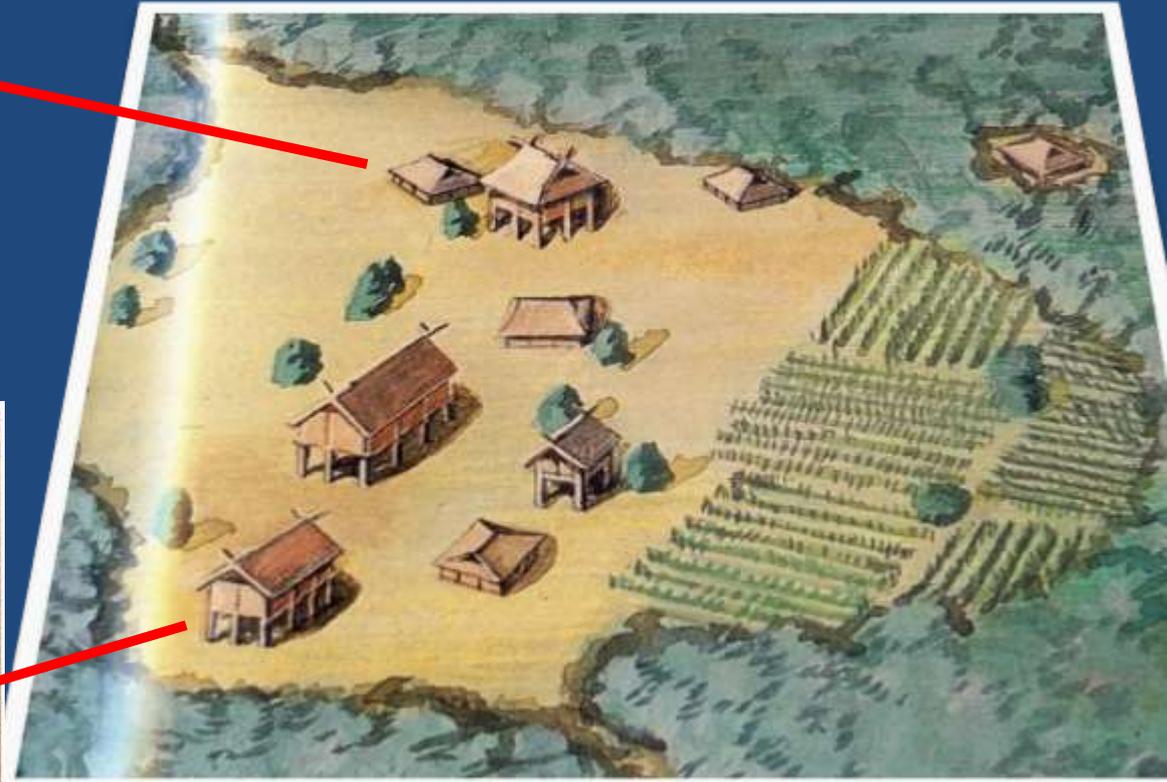
(佐倉市六拾部遺跡の事例)



9. 竪穴住居跡



10. 掘立柱建物跡

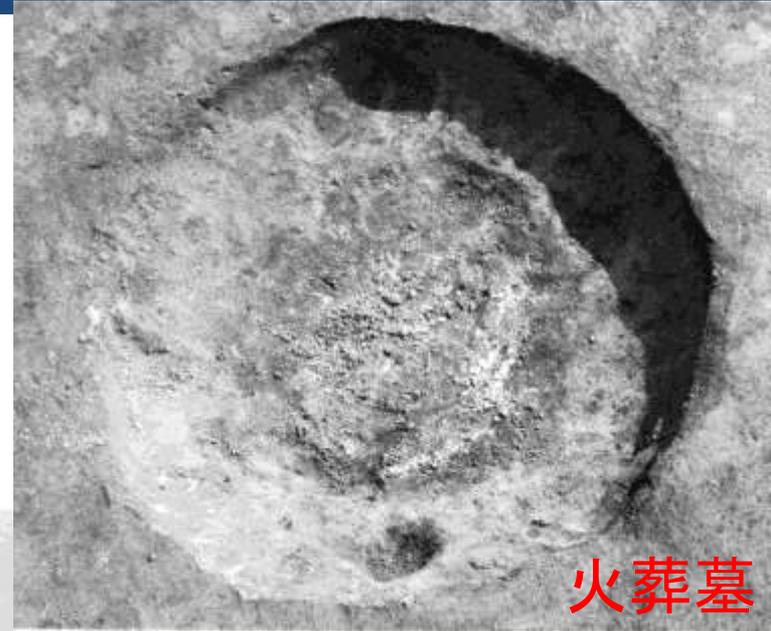


発見された有力者の墓(本郷台1次)



蔵骨器

蔵骨器



火葬墓



木棺墓

(本郷台1次)



木棺墓

古代～中世の道路跡



本郷台7次



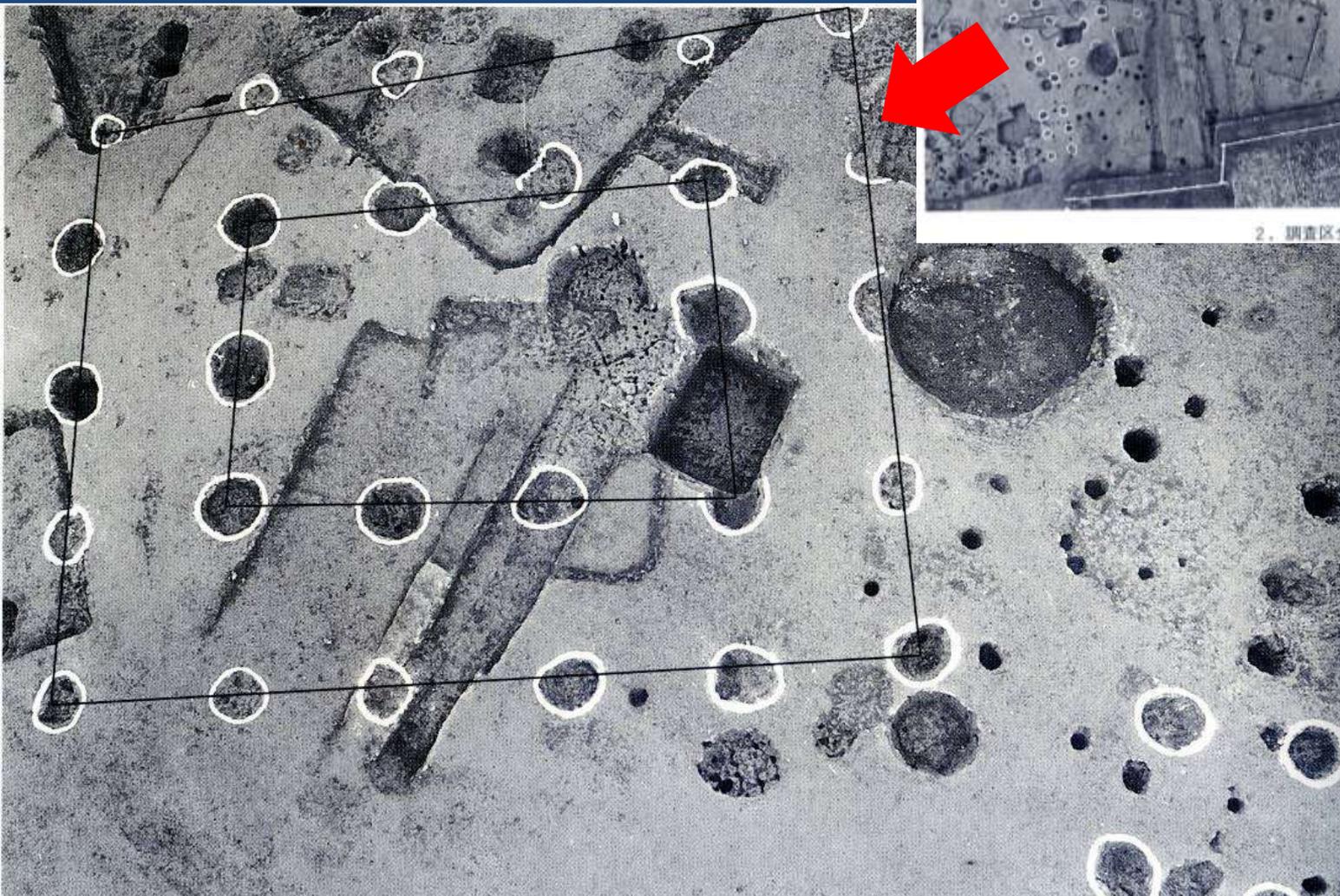
本郷台4次

四面廂建物跡

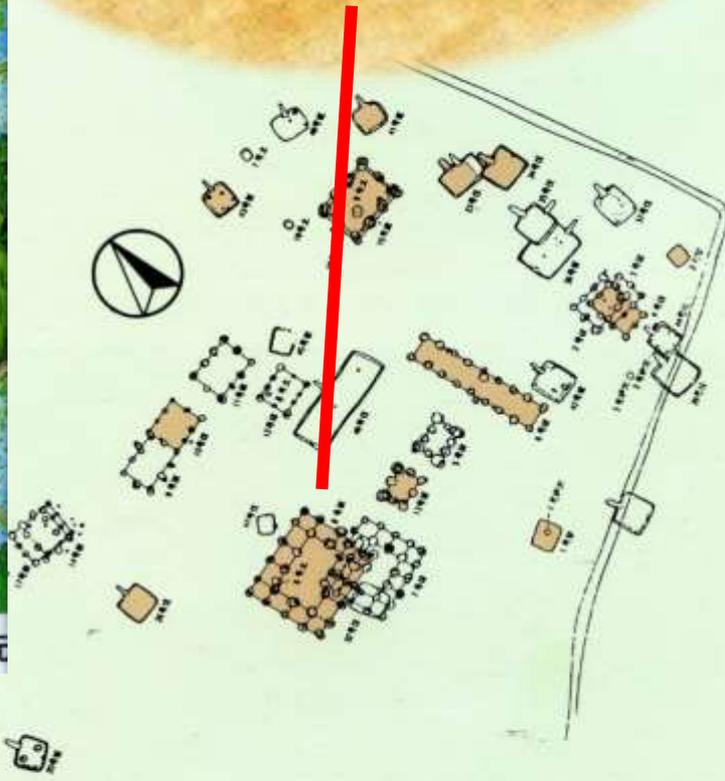
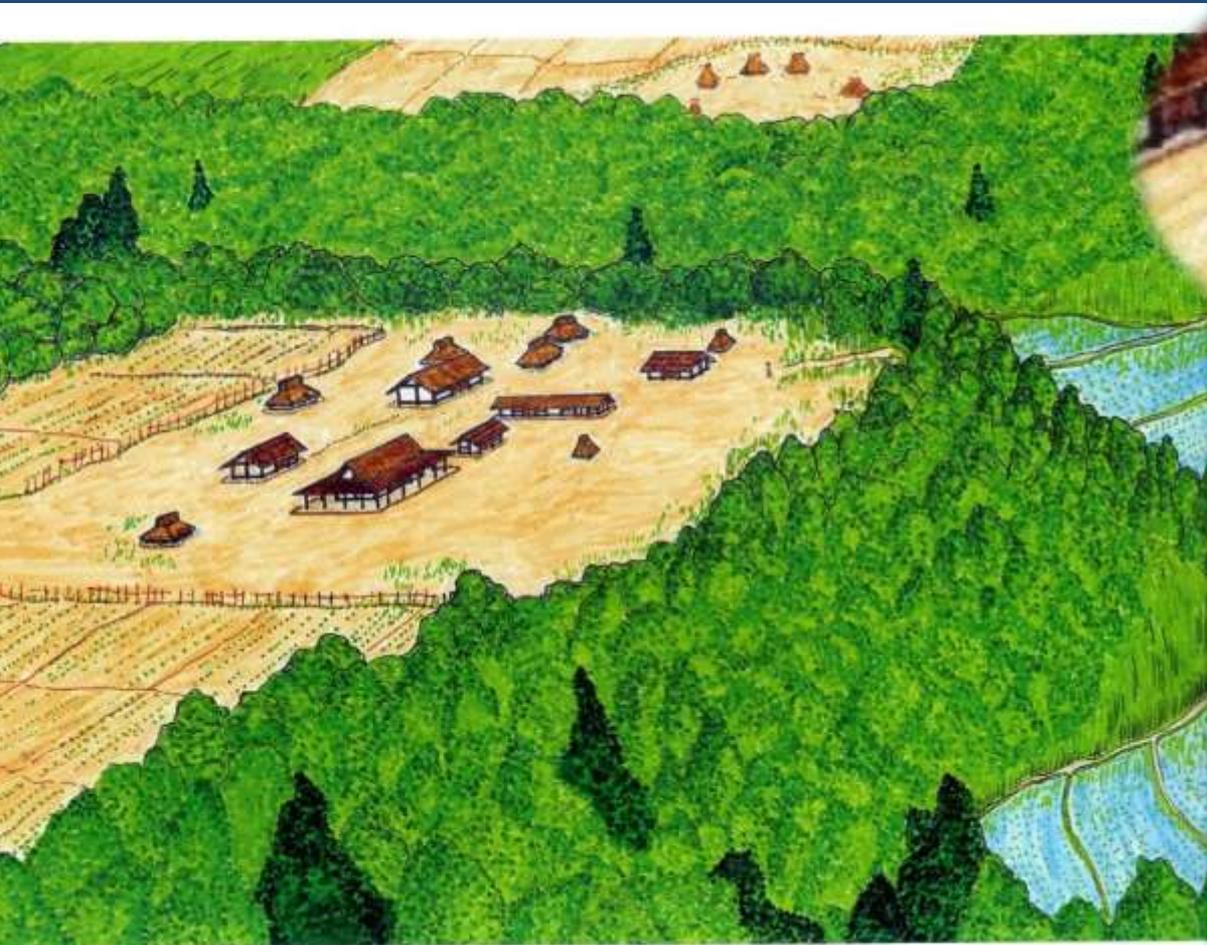
(本郷台7次)



2. 調査区全景 (東より)



四面廂建物跡のある集落の復元例 (袖ヶ浦市遠寺原遺跡)



112. 遠寺原遺跡の建物推定復元

墨書土器

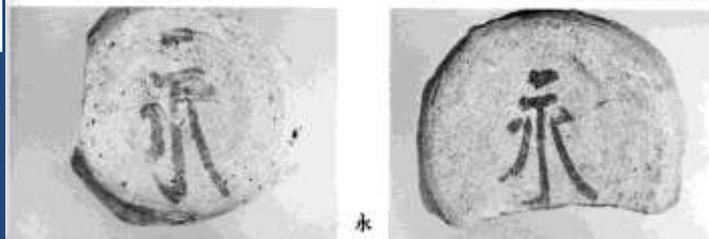
380点以上出土



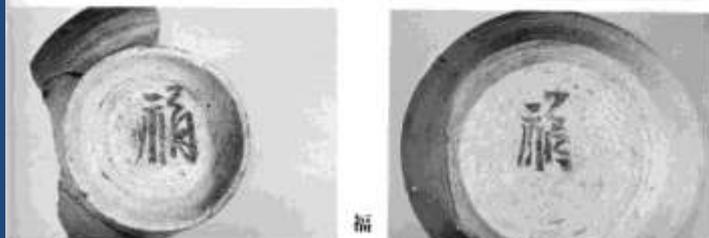
「衛」「栗」と書かれた墨書土器
東中山台遺跡群(18)(21)



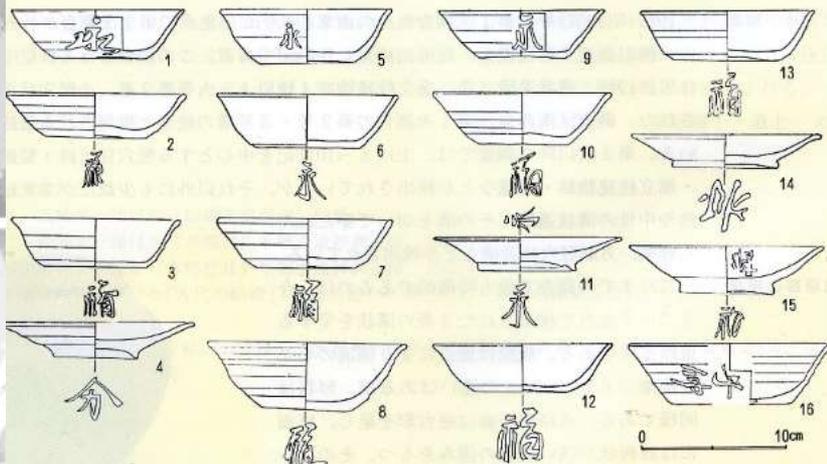
倍



永



福

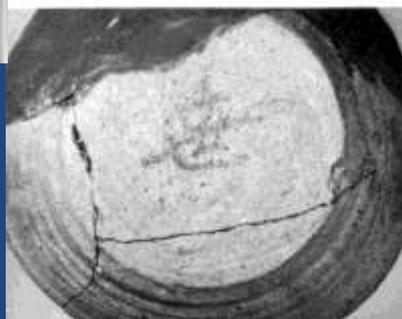


1~4 5号住居跡 5~11 7号住居跡 12~15 9号住居跡 16 16号住居跡

図3 第1次調査出土墨書土器



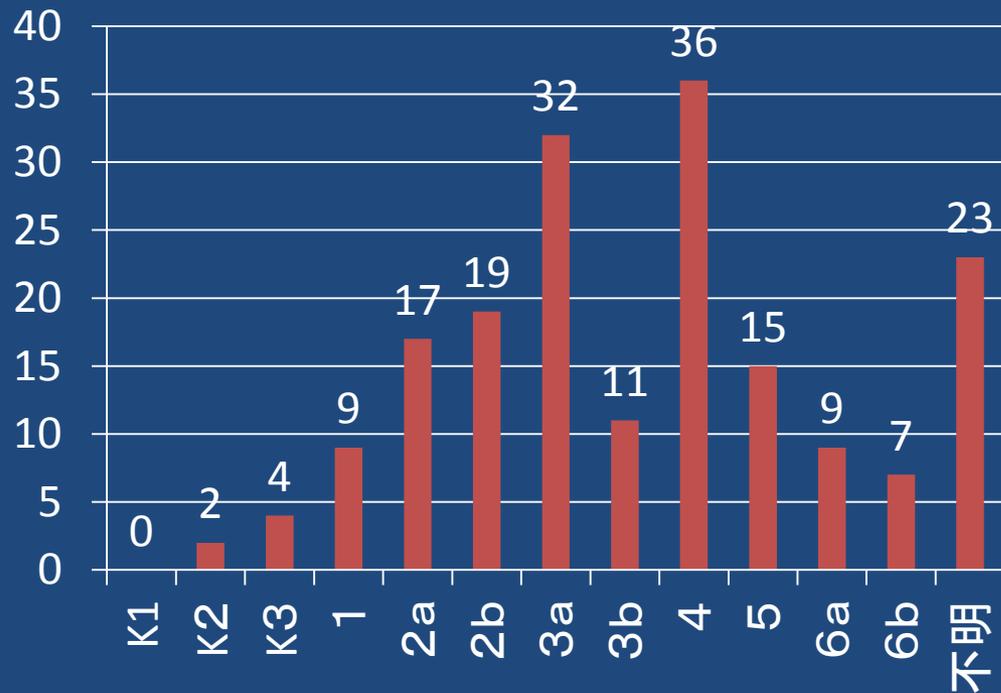
人



世



東中山台遺跡群 竪穴住居跡 時期別軒数



●集落の時期
7世紀前葉～11世紀代

○竪穴住居跡184軒

○掘立柱建物跡71棟
(側柱建物62、総柱建物4)

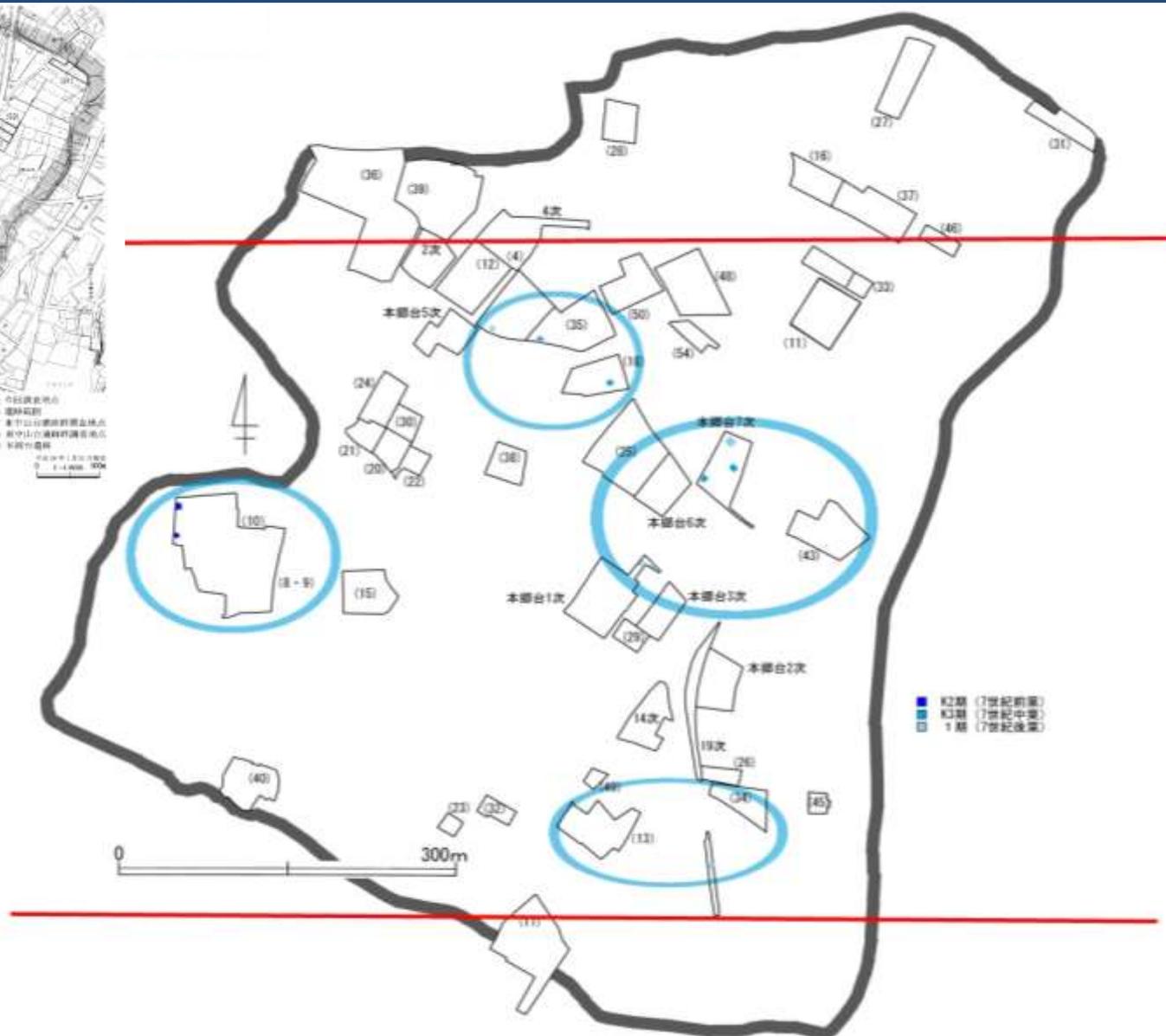
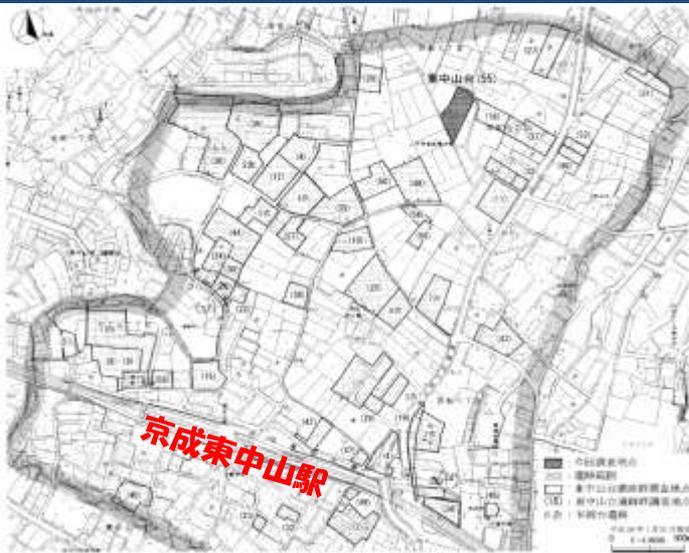
○火葬墓・木棺墓

○製鉄・鉄鍛冶関連遺構

○溝・道路跡など

(1977～2011年 統計)

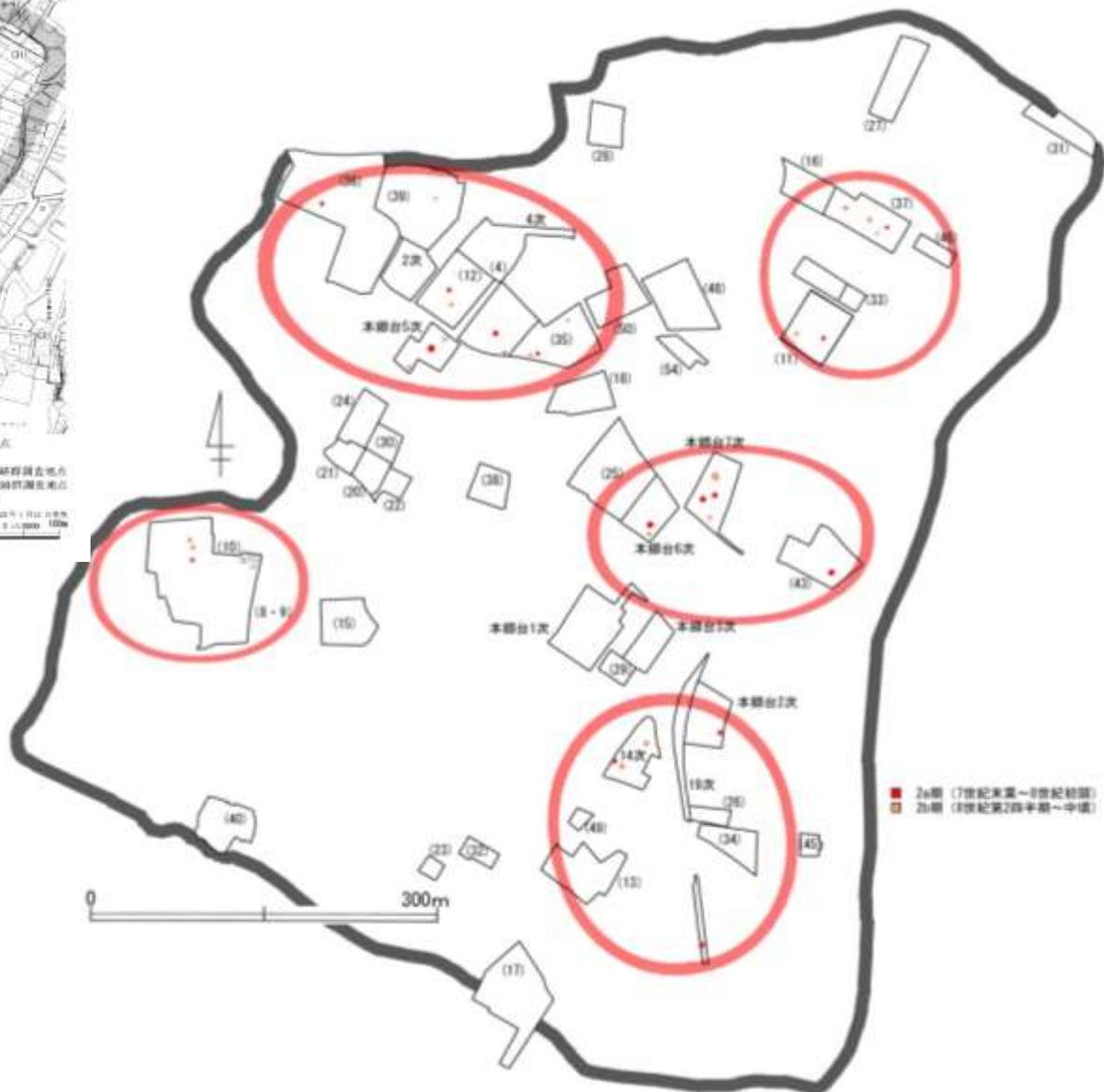
7世紀 (東中山台遺跡群)



7世紀末葉～8世紀中頃 (東中山台遺跡群)



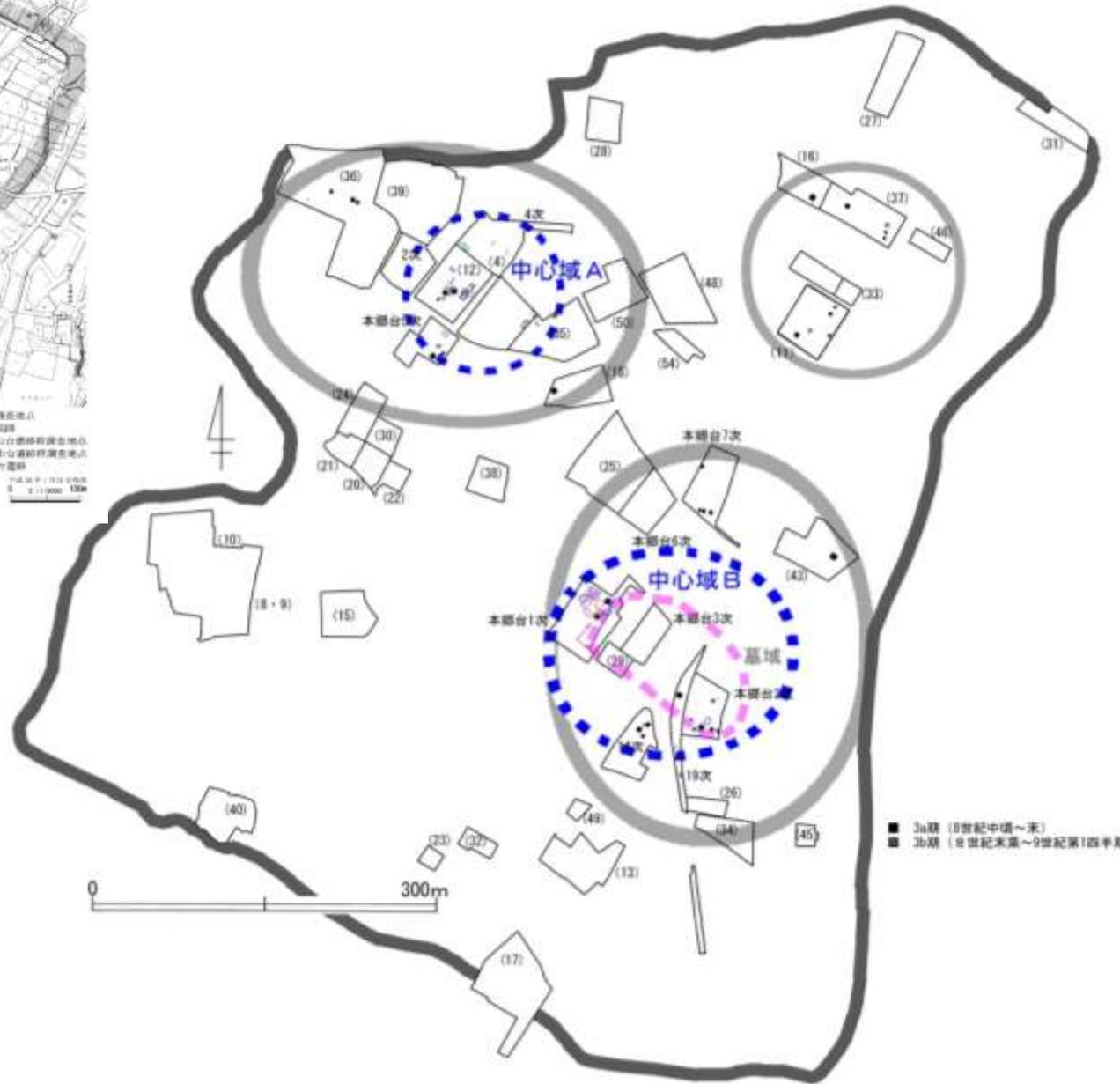
第3図 東中山台遺跡群調査地点図(1/6,000)



8世紀中頃～9世紀初め (東中山台遺跡群)



第3図 東中山台遺跡群調査地点図(1/6,000)

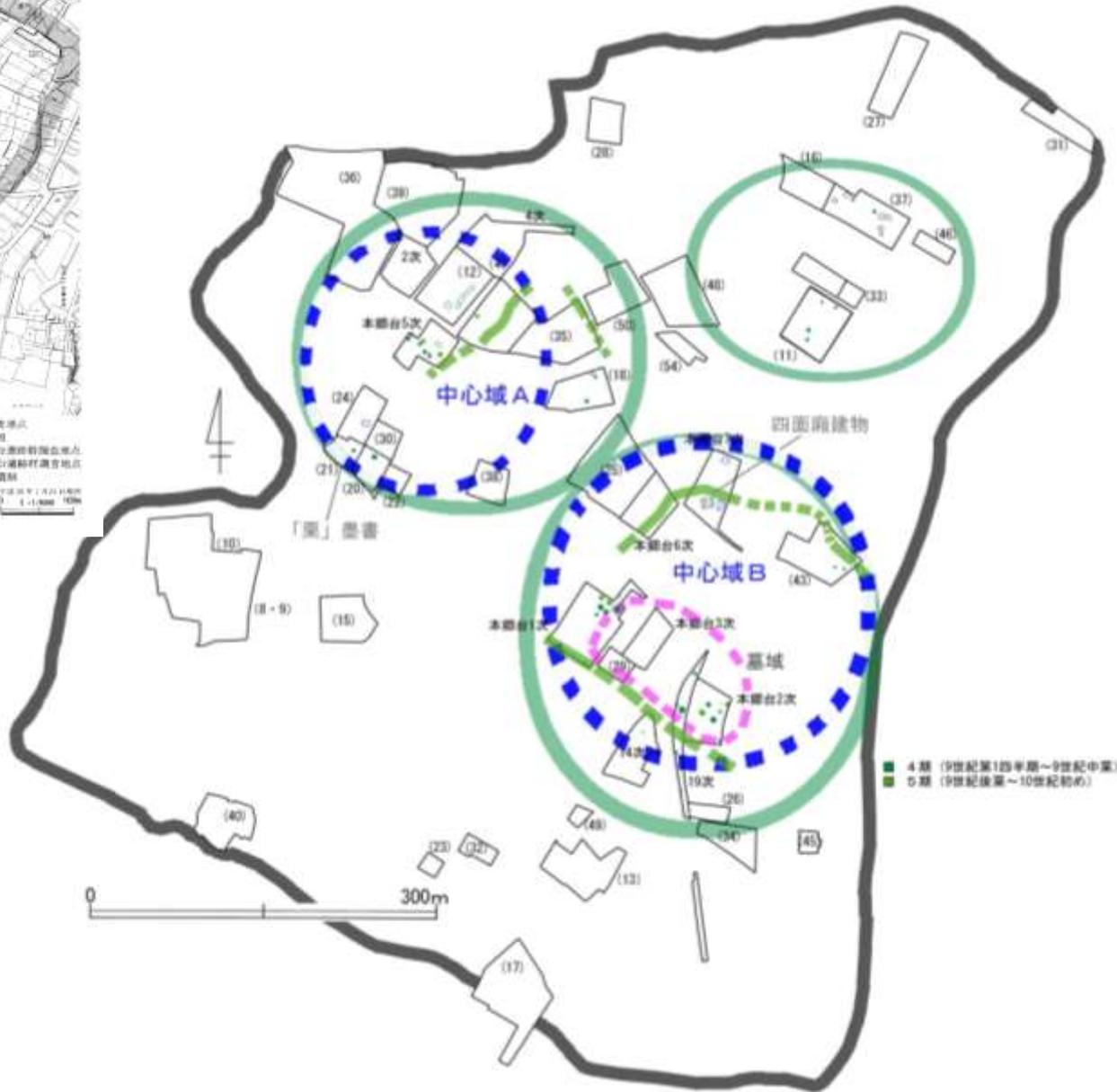


■ 3a期 (8世紀中頃～末)
 ■ 3b期 (9世紀末葉～9世紀第1四半期)

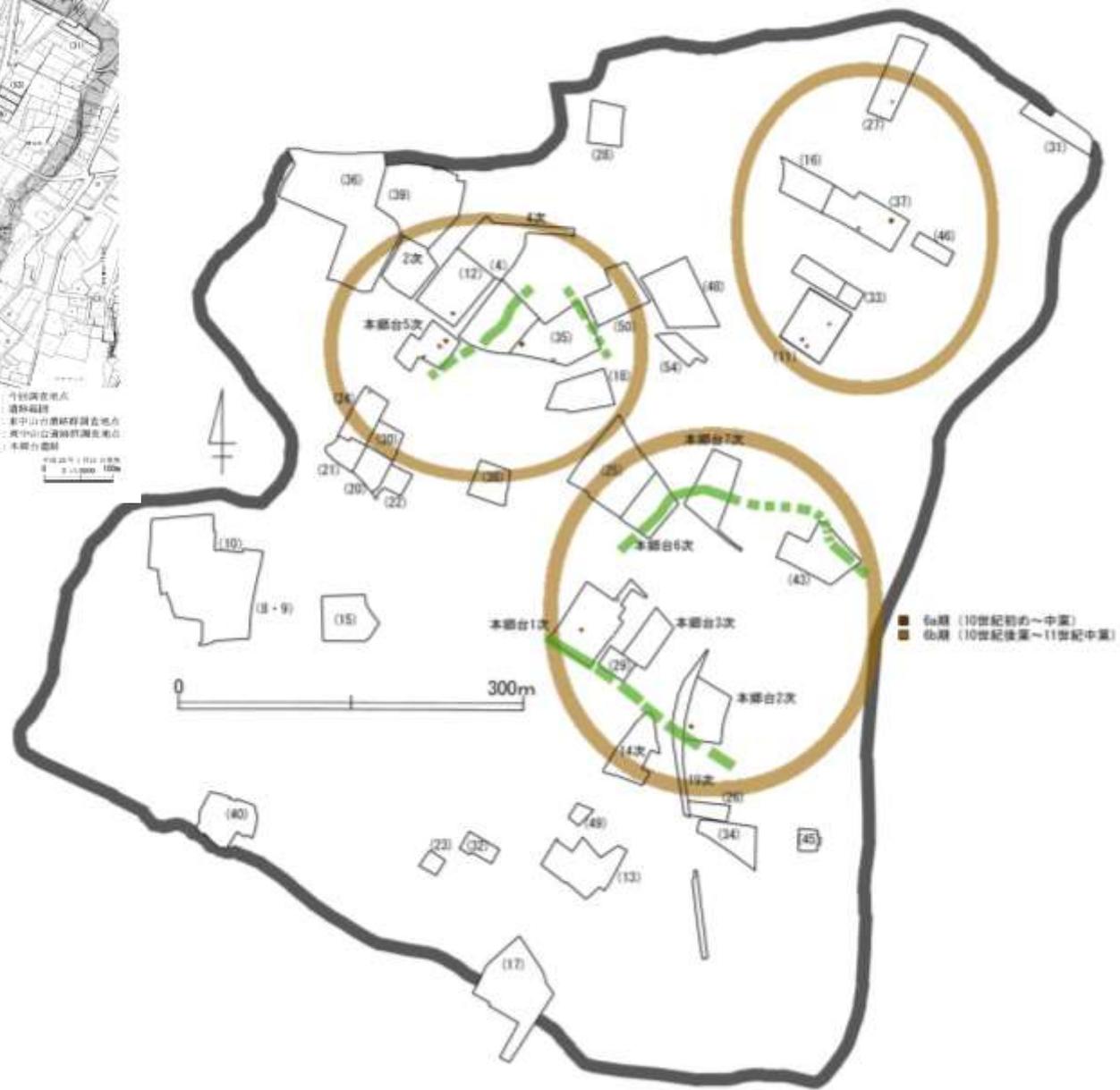
9世紀初め～10世紀初め(東中山台遺跡群)



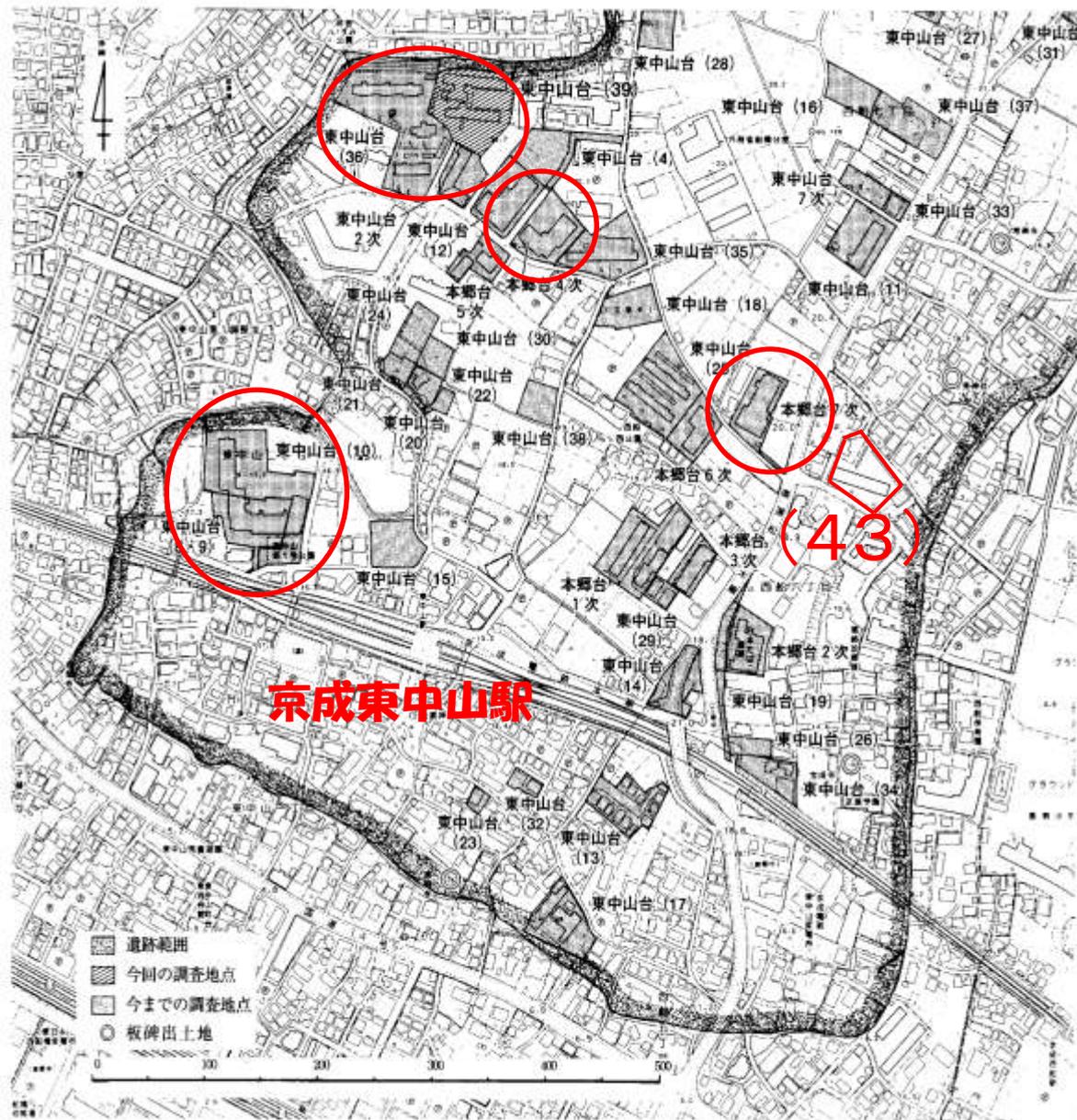
第3図 東中山台遺跡群調査地点図(1/6,100)



10世紀初め～11世紀中葉(東中山台遺跡群)

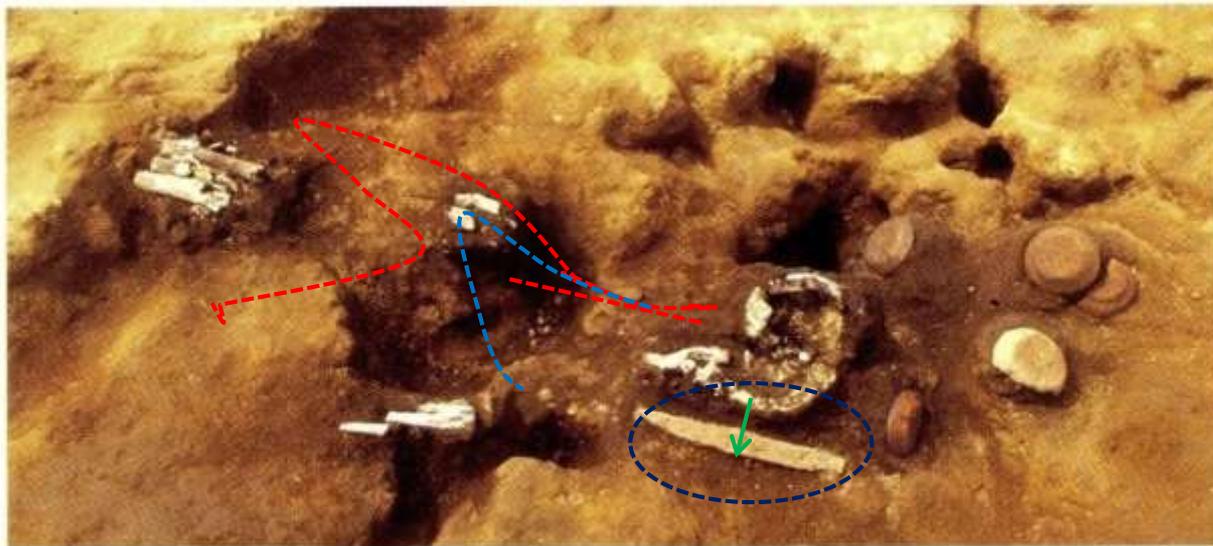


中世の東中山台遺跡群(本郷台遺跡含む)

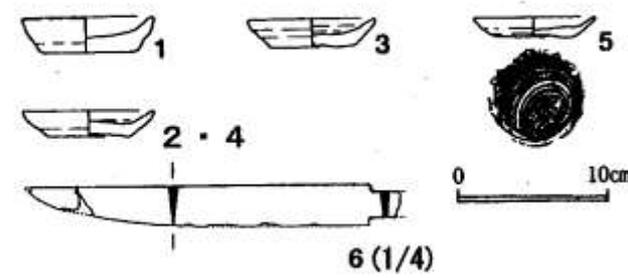
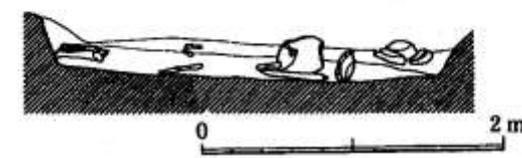
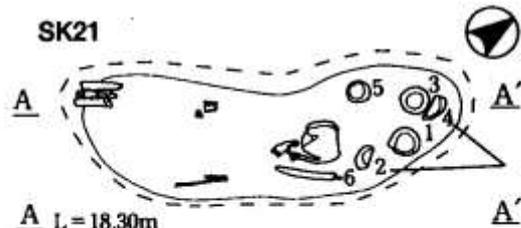
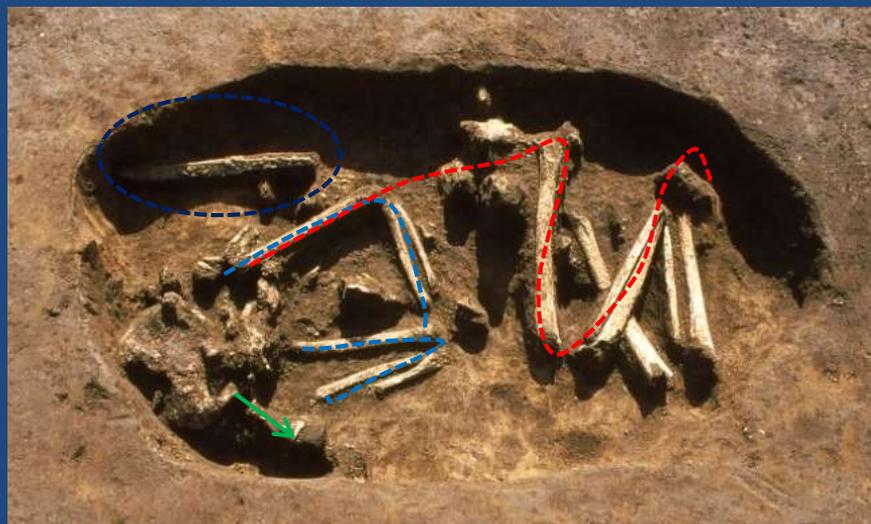


第3図 東中山台遺跡群調査地点図 (1/5,000)

東中山台遺跡群 ～中世前半の遺構～



カワラケと短刀を副葬した墓



本郷台遺跡7次土坑墓(中世初頭)

←参考→
印内台遺跡群(21)
短刀を副葬した女性の墓

中世前半の遺物②

～中世前半・伊勢との関連を示す～



28. 南伊勢系土鍋破片
船橋市本郷台遺跡 7次出土
(12世紀後半～13世紀初め)



29. 南伊勢系土鍋(復元)
葛飾区鬼塚遺跡出土(13世紀)
(葛飾区郷土と天文の博物館写真提供)



常滑や渥美窯産(愛知県)の甕
本郷台遺跡第7次ほか

青白磁梅瓶



当時の高級陶磁器
中国で作られた青磁や白磁



白磁碗(中世後半) 青磁蓮弁文碗(中世前半)

青磁劃花文碗
(中世前半)

本郷台遺跡第7次



青磁蓮弁文碗 船橋市本郷台遺跡第7次出土 鎌倉市教育委員会提供

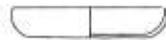
南伊勢系鍋の分布(中世前半)



29. 南伊勢系土鍋(復元)

13世紀中葉頃の南伊勢系土師器

皿



鍋

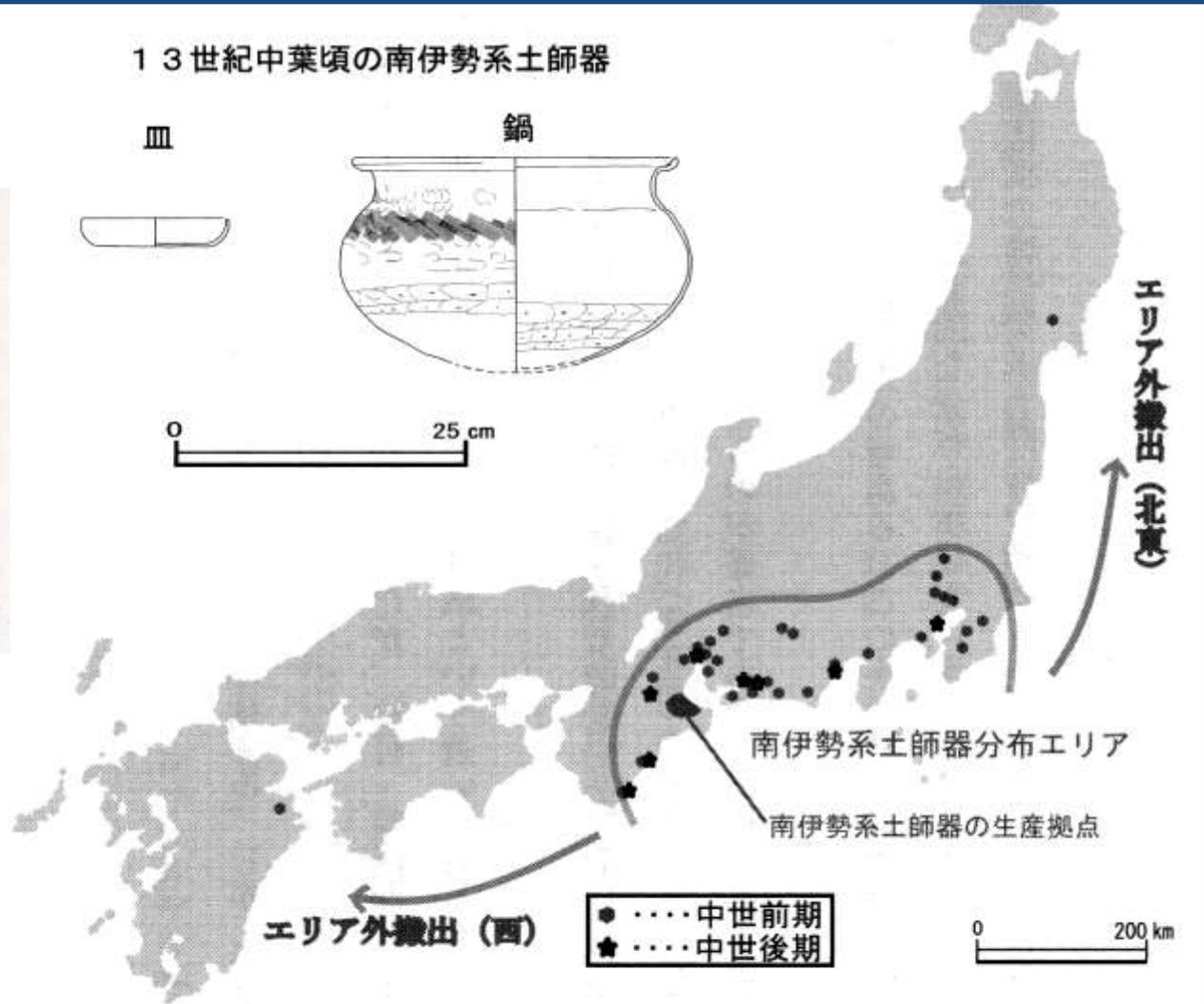
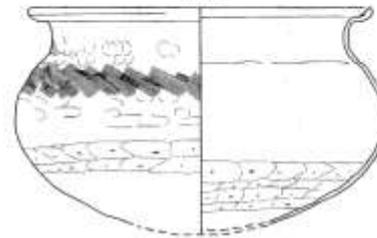


図29 南伊勢系土師器の分布図

伊藤裕偉『中世伊勢湾岸の湊津と地域構造』より

船橋をめぐる物流図

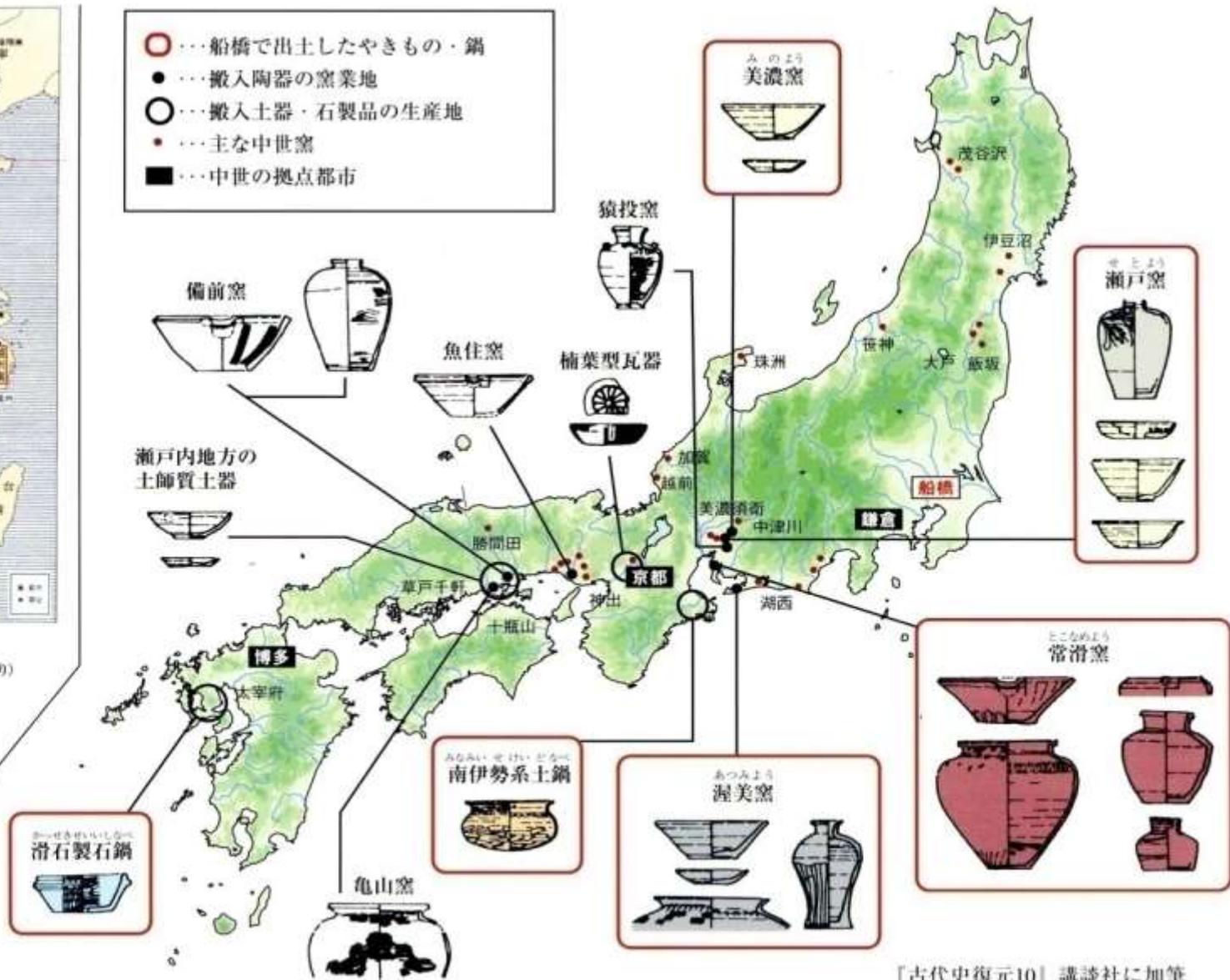


図1 中国大陸古窯跡分布図

(京都国立博物館編「日本人が好んだ中国陶磁」より)

---日本に輸出された中国の焼物
(青磁・白磁・青白磁・染付他)の窯跡

- …船橋で出土したやきもの・鍋
- …搬入陶器の窯業地
- …搬入土器・石製品の生産地
- …主な中世窯
- …中世の拠点都市



『古代史復元10』講談社に加筆

50. 船橋をめぐる物流図

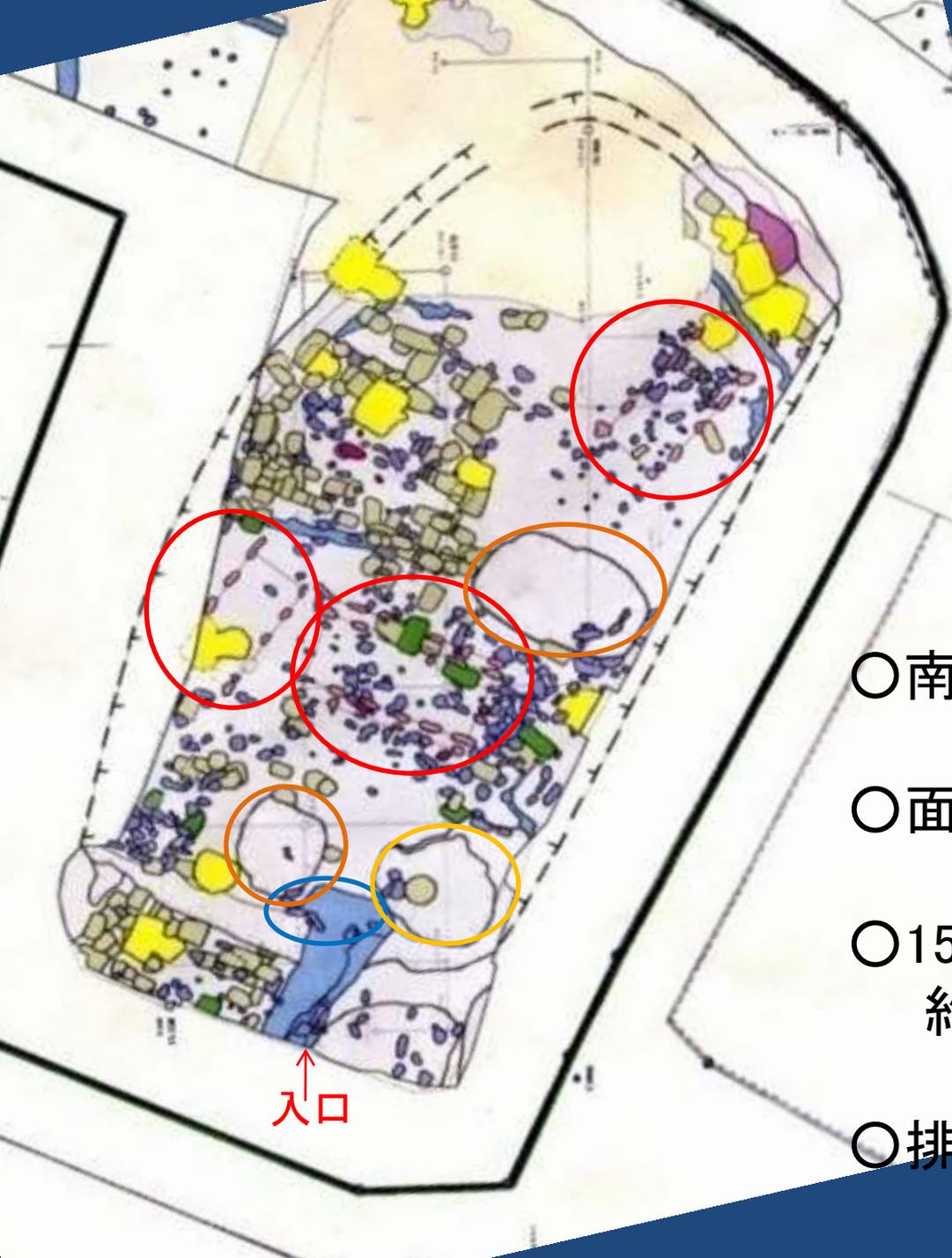
さまざまな製品が東国第一の都市・鎌倉へ船で運ばれ、次に船橋(湊)へ同じく船で輸送されたと考えられます。

中世後半・掘込型屋敷の発見



東中山台遺跡群(39)
地点出土の陶器・土器

東中山台遺跡群(36)
地点の中世屋敷



東中山台遺跡群 (36) 中世屋敷 (掘込型屋敷)

- 南北52m × 東西推定29m
- 面積 1,508m²
- 15世紀後半から16世紀末葉まで
約150年間居住
- 排出土により土塁を築いたか

千葉市南屋敷(掘込型屋敷の典型)

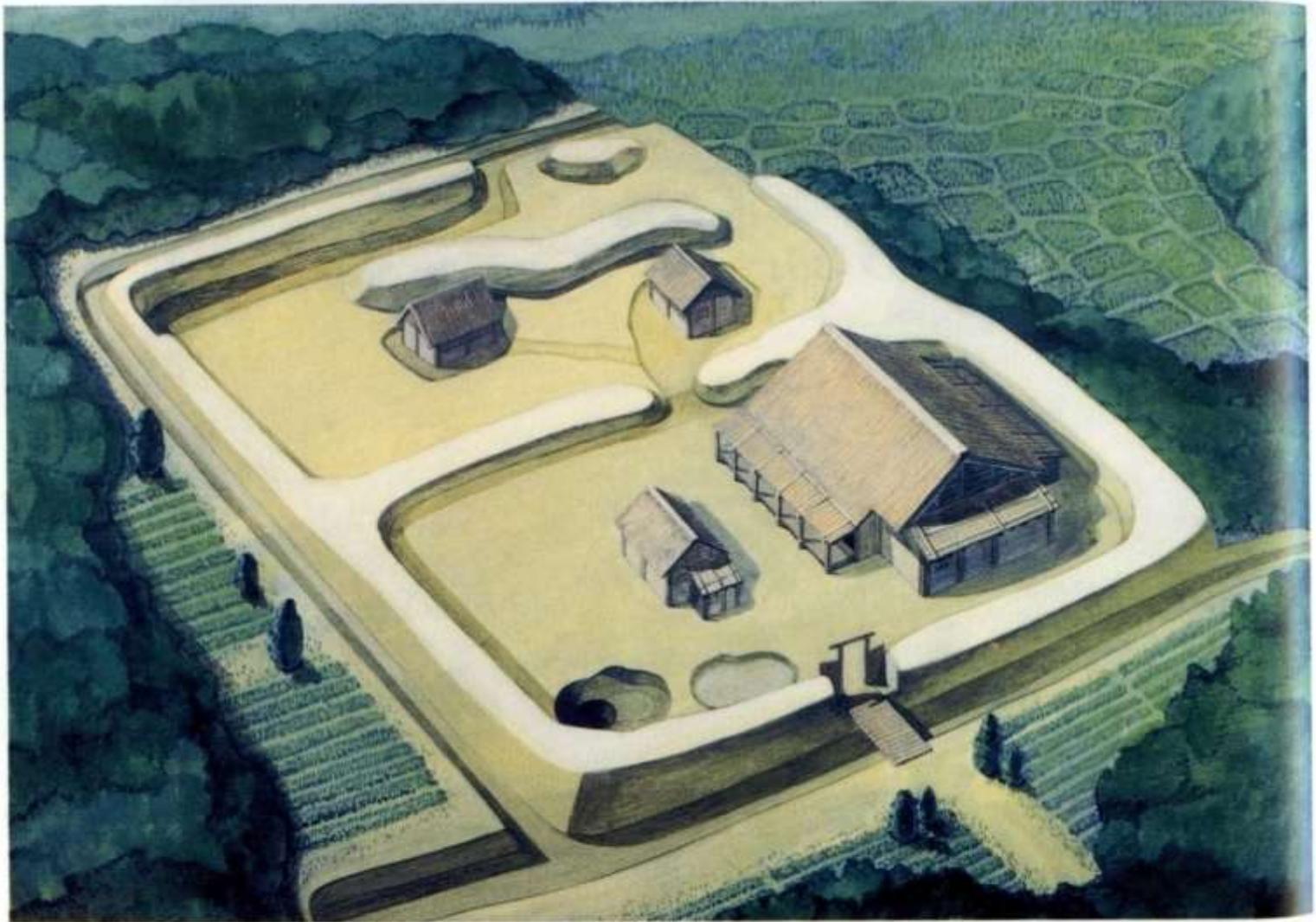


図41 南屋敷遺跡復元鳥瞰図(築瀬裕一監修・佐藤喜一郎画)

2つの郭からなる小規模な城館跡。主郭が副郭や外部よりも低い特異な構造を示す。末端の支配者である土豪層の城館である。

『千葉県の歴史 中世1』

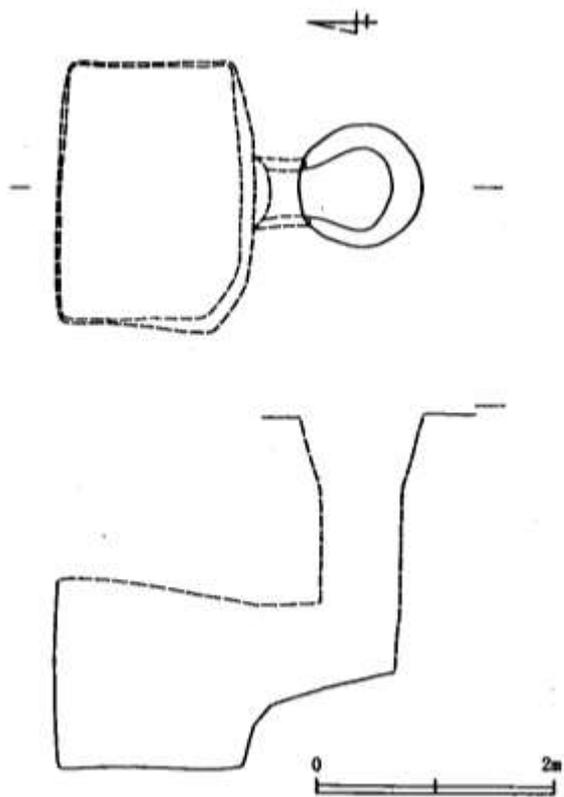
東中山台遺跡群(36) 中世屋敷(掘込型屋敷)



掘立柱建物跡

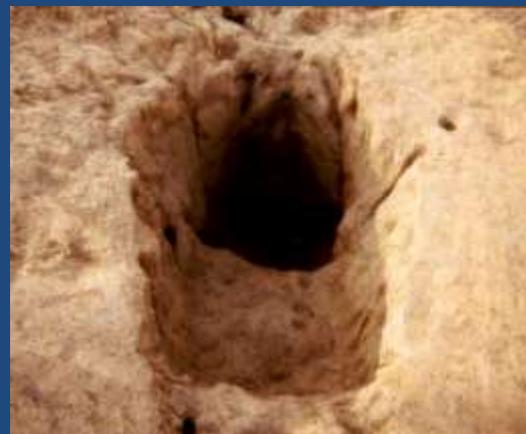
4間×1間 8m×3.5m 柱間約2m
面積 約28m²

地下式坑の構造



東中山台遺跡群39次地下式坑

竪坑直径1m、深さ2.1m、
竪坑上面～地下室底面まで3m、
地下室奥行1.6m×幅2.2m、
地下室高さ1.6m



地下式坑出土炭化米



東中山台遺跡群(43)地点



東中山台遺跡群(43) 中世の井戸



東中山台遺跡群(43) 中世貝層



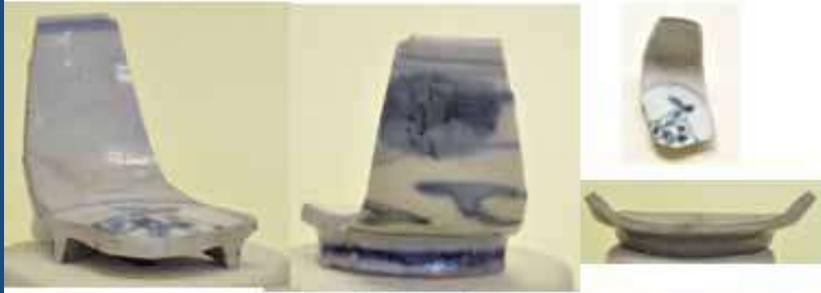
東中山台遺跡群(43) 中世の墓



東中山台遺跡群(43) 近世の墓



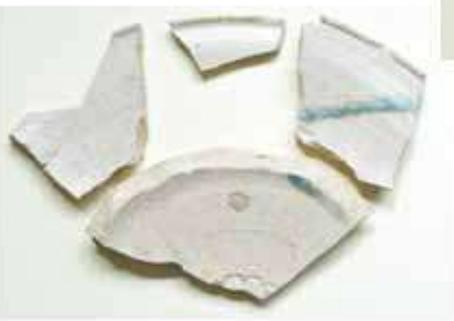
東中山台遺跡群(43) 国産及び貿易陶磁



貿易陶磁



唐律碗



鎌倉向付

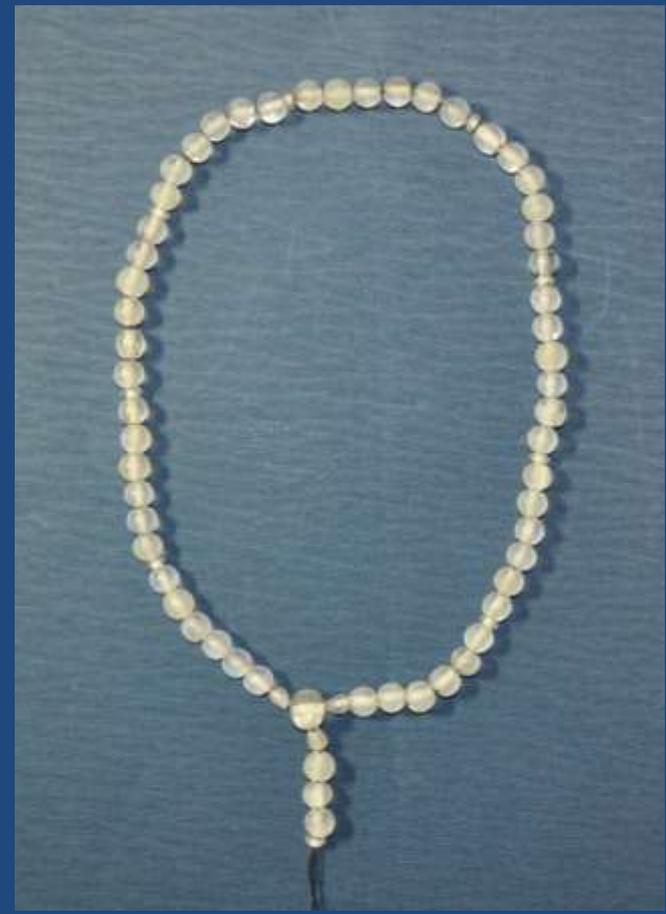


中世～近世初頭瀬戸・美濃系



後送

006土坑墓類珠玉



近世の墓に副葬されたガラス製数珠玉

東中山台遺跡群(43) 出土した中世の動物遺体

中型在来犬の下顎骨

大型西洋犬(ポインター等)
の下顎骨



『デズモンド・モリスの犬種事典』

図2. 鳥類・哺乳類
 1~3:ウシ 4~8:ネコ 9~10:キツネ 11~16:イヌ 17-18:イノシシ 19-20:シカ 21:人骨
 (1:上顎 第2後臼歯 2:下顎 第4前臼歯 3:下顎 第3後臼歯 4:下顎骨 5-6:尺骨 7:脛骨 中間部~遠位部
 8:踵骨 完全 9:上腕骨 ほぼ完全 10:脛骨 ほぼ完全 11:下顎骨 12:下顎骨 13:上顎犬歯 14:踵骨 完全
 15:大腿骨 中間部~遠位部 16:脛骨 完全 17下顎 18:脛骨 近位部 19:角座部 20:上腕骨 遠位部
 21:脛骨 中間部 (L:1, 2, 4, 5, 7, 8, 10, 11, 13~18, 20, 21 R:3, 6, 9, 12, 19) (出土位置は出土一覽表を参照)

馬葬坑(馬の墓)



本郷台遺跡4次馬葬坑

体高128cm・雌(めす)・10歳前後(壮年)

*数字は出土したウマの個体数

船橋市内で出土した
ウマの分布図(1999年)



中世後半の生活道具

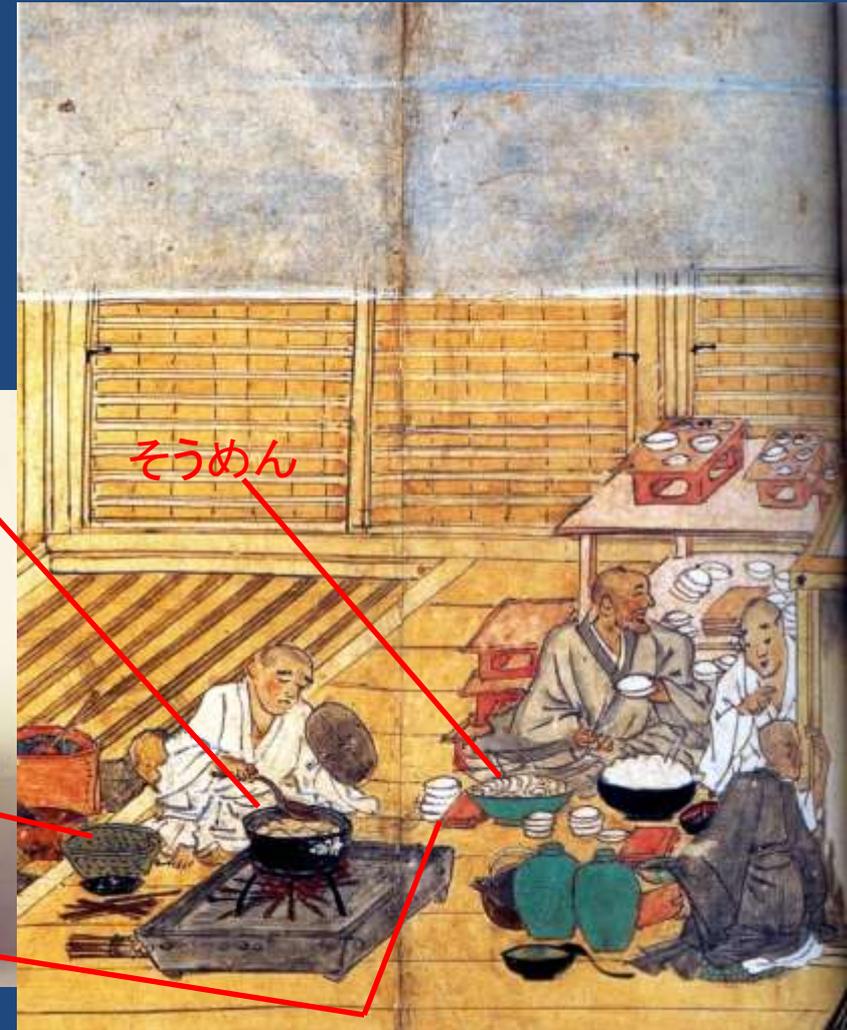
内耳土鍋

鉄鍋

搥鉢



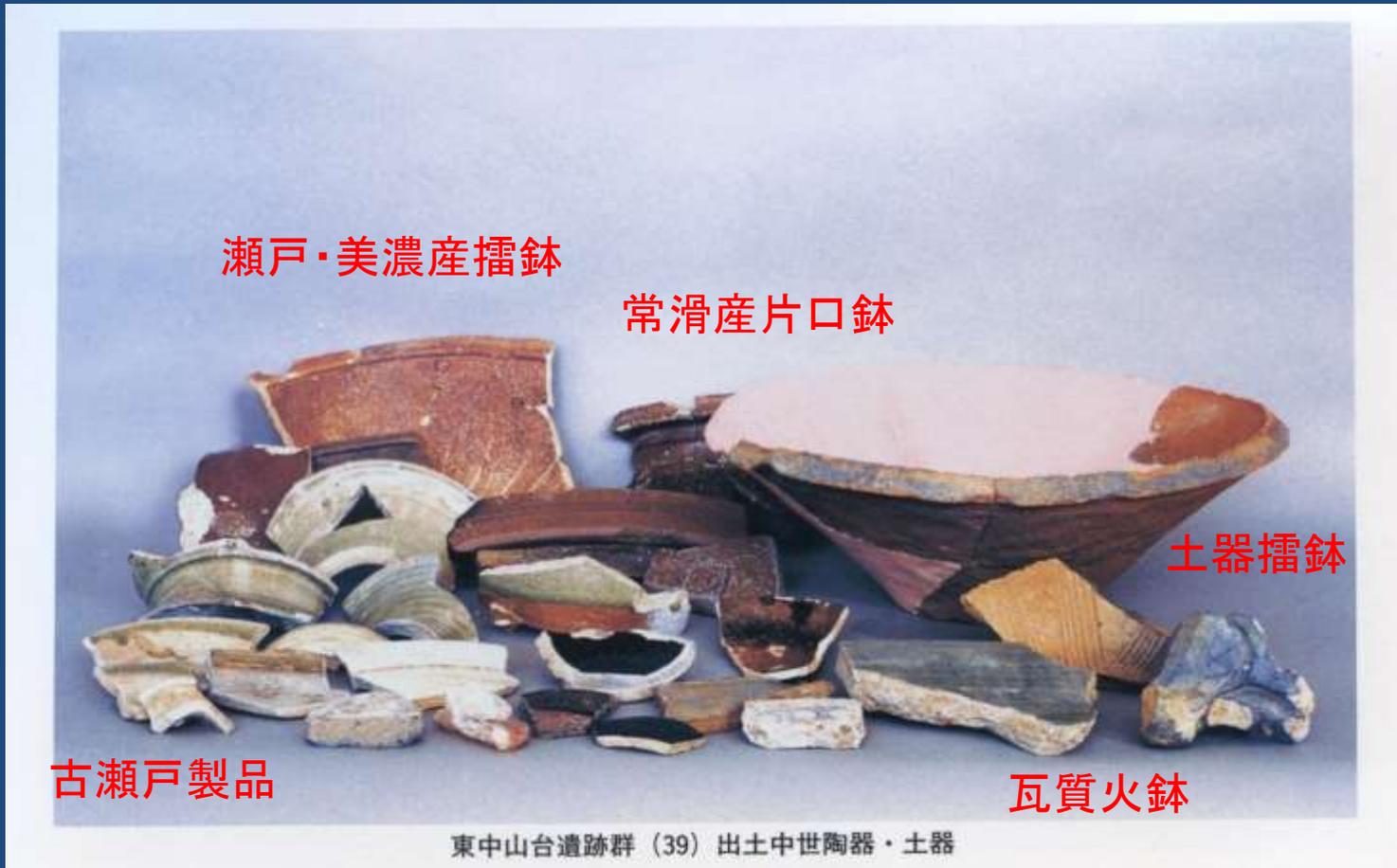
東中山台遺跡群(36)



そうめん

慕帰絵詞(西本願寺所蔵) 14世紀
京都本願寺覚如の伝記

中世後半(15世紀代中心)の遺物



中世後半(16世紀初頭中心)の遺物

すり道具がふえる=粉食の時代



遺跡に関するお問合せ



- 船橋市教育委員会 文化課
船橋市湊町2-10-25 船橋市役所7階
電話 047-436-2898
- 船橋市埋蔵文化財調査事務所
船橋市二和東5-32-17
電話 047-449-7153
- 飛ノ台史跡公園博物館
船橋市海神4-27-2
電話 047-495-1325
- 船橋市郷土資料館
船橋市薬円台4-25-19
電話 047-465-9680

◎より詳しい研究を知りたい方は…◎

近刊 『市川市史編さん事業調査報告書 下総国戸籍 遺跡編』2014年
道上 文「葛飾郡2 船橋市域の遺跡」 もご覧ください！